

IV 研究の実際

1 ソフトウェアの開発

(1) 基本設計

開発班内で、プレゼンテーションソフトを用いて下記のような基本設計書（構想版）を作成した。

① タイトル画面



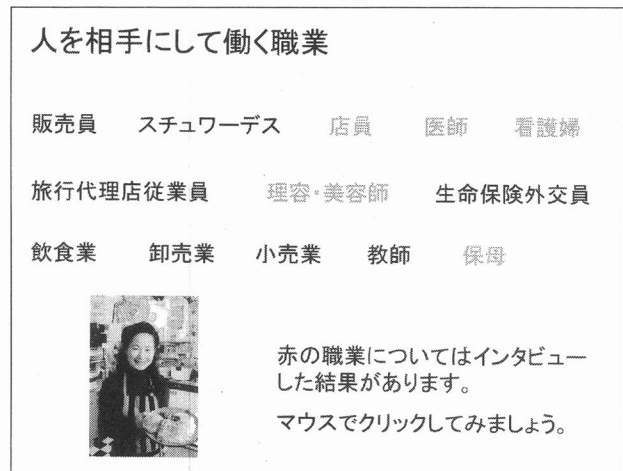
- ・ 生徒の興味・関心を引き出すようなデザインを構成する。
- ・ ソフトウェアの内容を類推できるような写真を提示する。

② 大まかな分類から調べる職業をしぼる画面



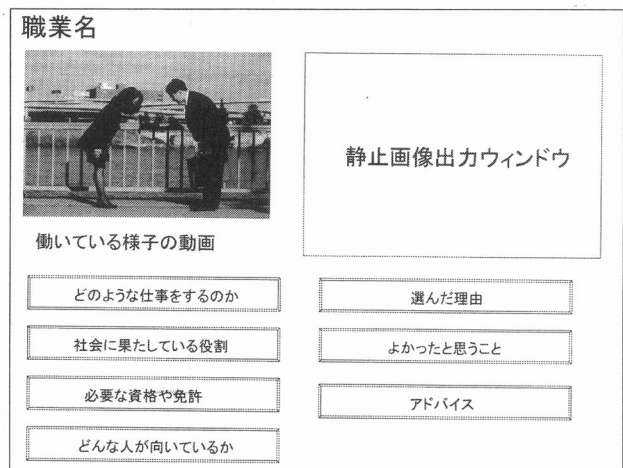
- ・ 副読本「中学生活と進路」での分類により職業を大きく6つの観点で分類する。
- ・ 自分の調べたい職業はどの分類に属しているかを判断してマウスで選択する。

③ 具体的に調べる職業を選択する画面



- ・ 実際に調べたい職業をマウスで選択する。
- ・ 生徒の興味・関心の発展性を重視し、取材していない職業名も入れておく。
- ・ 操作しやすくするために、文字ボタンを取り入れる。

④ インタビューを疑似体験する画面



- ・ 働く様子を動画により提示する。(約1分間)
- ・ 静止画像出力ウィンドウにはインタビューに応じていただいた方の顔写真を提示するとともに、下に配置したインタビューボタンと連動して、その職業に関連する写真資料（例 機械や道具、職場の様子等）が流れる。
- ・ 下のボタンを押すと、その項目に対する回答が音声で提示される。
- ・ インタビューの項目は全職業共通とする。